

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 8号)

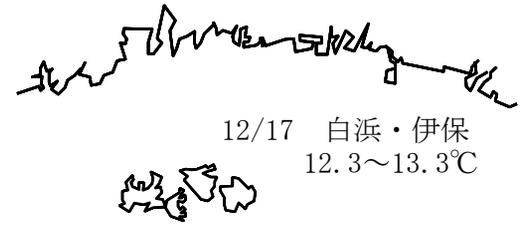
2020年12月18日発行  
 兵庫のみ研究所

一部の漁場を除き、この海域全般に植物プランクトンは少ない状況にあります。窒素は地先海域で概ね4  $\mu\text{g-at/L}$ 前後、沖合海域で2  $\mu\text{g-at/L}$ 台後半～3  $\mu\text{g-at/L}$ 台半ばで、前回(12/11)調査と比較し海域全体的に上昇した値となっています。

### (栄養塩、珪藻)

赤穂漁場では小型のキートセロスの他スケルトネマがやや目立って確認された。その他の地先漁場及び坊勢漁場では、コシノディスカスが海水1Lあたり20～50細胞と散見される程度、それ以外の珪藻はほとんど確認されない。家島地区のカジ～加島周辺では、コシノディスカスが海水1Lあたり100細胞前後、また筒状の肉眼視される珪藻も散見されており窒素は2  $\mu\text{g-at/L}$ 台後半であった。近隣海域(岡山・香川県)の窒素は概ね十分量で推移しており、数日間続いた季節風により西方域の海水が波及したことで、この海域の栄養塩が底上げされたと思われる。

### 水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	1.0	2.9	4.5	3.0
	リン	0.38	0.67	0.53	0.56
家島・坊勢	窒素	2.7	3.3	5.4	5.4
	リン	0.62	0.64	0.69	0.78

(12/11) (12/13)

### 栄養塩 (窒素) 図

2020年12月18日調査

